

専門リハビリテーション研究会補装具研究部会 第10回義肢適合支援のあり方研究会

I. 期日・場所

日時：平成30年2月18日（日） 10:00～16:10(受付 9:00～)

場所：東京医科歯科大学 3号館 18階 保健衛生学科 講義室1

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-4 5

II. 講師

医師：寺部雄太（東京西徳洲会病院）

理学療法士：原 和彦（埼玉県立大学）

理学療法士：岡安 健（東京医科歯科大学医学部附属病院）

理学療法士：宮城新吾（JR 東京総合病院）

義肢装具士：越前谷務（株式会社田沢製作所）

義肢装具士：幸村久弥（川村義肢株式会社）

III. 関連趣意

下肢切断者への適切な支援を検討する際、各病期の特性を踏まえた「切れ目のない対応」が必要不可欠である。これに加えて、各専門職種が連携することで、より効果的な支援が可能となる。このような状況の中、下肢切断者に対する義肢装着適合や理学療法などの介入には、従来にも増して高い専門性と実践力が必要とされます。そこで、今回は第一線の臨床現場で活躍するそれぞれの職種（医師・義肢装具士・理学療法士等）によるシンポジウムを開催するとともに、各病期での実用的な支援法などの理解を深めるべく、本研修会を企画いたしました。

IV. テーマ

急性期～在宅へ向けて、途切れのない支援

V. 内容

10:00～12:00 シンポジウム1 「急性期の専門職連携のための共通理解」

講演 医師：寺部雄太（東京西徳洲会病院） 理学療法士：岡安 健（東京医科歯科大学）

義肢装具士：越前谷務（株式会社田沢製作所）

13:00～15:30 シンポジウム2 「回復期・在宅期のかかわりについて」生活期に向けた連携支援

講演 理学療法士：宮城新吾（JR 東京総合病院） 義肢装具士：幸村久弥（川村義肢株式会社）

15:40～16:10 義肢に関するトピックス

講演 理学療法士：原 和彦（埼玉県立大学）

- VI. 対 象 理学療法士、義肢装具士、その他義肢支援関係職種
- VII. 定 員 150名
- VIII. 参 加 費 4,000円、学生1,000円
- IX. 共 催 義肢適合支援のあり方研究会
-
- X. 後 援 後援承認済 東京都理学療法士協会、神奈川県理学療法士会、埼玉県理学療法士会
千葉県理学療法士会、山梨県理学療法士会、栃木県理学療法士会
-
- XI. 連 絡 先 東京都文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学医学部附属病院リハビリテーション部
担当：岡安、高田 03(5803)5648 アドレス：gisokutekigou@gmail.com
-
- XII. 申し込み先 E-mail：gisokutekigou@gmail.com
下記項目記載の上、申し込み
名前（フリガナ）、日本理学療法士協会会員番号、生年月日、所属勤務先
職種、連絡先（E-mail）